

「 地理歴史・公民科 地理 A 」

福島県立福島工業高等学校

学年	1	学 科	全科	使用教科書	帝国書院「高等学校新地理A」	単位数	2
科 目 の 目 標	現代社会の地理的な諸問題を地域性を踏まえて考察し、現代社会の地理的認識を養うとともに、国際社会の一員としての自覚をもち、主体的に国際理解や諸問題の解決にあたるための知識や技能を身につける。						
科 目 の 評 価 の 観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の現代、過去の事象に深い関心をもつ。</li> <li>国際社会で生きるための心構えを身につける。</li> </ul>		[関心・意欲・態度] …①				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真や地図、グラフから地理的な情報を読みとる。</li> <li>地理的な事柄と人々の生活文化を関連づける。</li> </ul>		[思考・判断・表現] …②				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>地図化、グラフ化などの地理的な技能を伸ばす。</li> <li>調査結果や自分の考えをことばや文章で表現できる。</li> </ul>		[資料活用の技能] …③				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代に生きる国際人として基礎的な知識を身につける。</li> <li>民族や環境など世界の諸問題がわかる。</li> </ul>		[知識・理解] …④				
学期	月	学習内容	学習目標	◆ 主 な 評 価 規 準 【 評 価 の 観 点 】		● 評価方法 ○ 資料等	
一 学 期	4 5	「地理A」ガイダンス	地理Aを学ぶ意義や一年間の内容、評価の方法を理解する。地理的基礎知識を習得する。	◆ 地理の授業に積極的に取り組む姿勢ができたか。(①) ◆ 都道府県や市町村・地形などの基礎知識を習得できたか。(④)		● 新地理Aノート点検 ● 授業プリント提出 ● 授業態度	
	5 6 7	第1部世界の諸地域の姿と地球的課題 1章地球儀や地図からとらえる現代社会 ①地球上の位置と国家 ②グローバル化が進む世界	方位と経緯のしくみを学ぶ。 時差の求め方を理解する。 個々の図法の長短所を理解する。 国家・国民とは何か、国の領域と領土問題を理解する。	◆ 地球についての用語を理解している。(④) ◆ 世界の略地図が書ける。(③) ◆ 時差を正確に求めることができる。(④) ◆ 用途に応じた地図を選ぶことができる。(②) ◆ 世界の領土問題を理解している。		● 新地理Aノート点検 ● 授業プリント提出 ● 授業態度 1学期中間考査 ● 新地理Aノート点検 ● 授業プリント提出 ● 授業態度 1学期期末考査	
	8 9 10	2章人間を取り巻く環境 ①人々の生活と地形 ②人々の生活と気候 ③人々の生活と産業と文化	さまざまな地形を世界的視野から概観する。 世界の気候と地形について理解する。 各気候区の特徴を自然環境と人々の生活に結びつけて総合的にとらえる。	◆ 地球上のさまざまな地形を説明できる、造山帯の分布を正しく示すことができる(④) ◆ 気候要素、気候因子がなぜ気候に影響を及ぼしているかを説明できる。(②) ◆ ケッペンの気候区分を覚えている。 ◆ 雨温図が書ける(③) ◆ 熱帯・乾燥帯・温帯・寒帯・冷帯の特徴を理解している。(②④)		● 新地理Aノート点検 ● 授業プリント提出 ● 授業態度 2学期中間考査	
二 学 期	10 11 12	3章世界の諸地域の特性 ①アジアの国々の生活文化 ②ヨーロッパの生活文化 ③アメリカの生活文化	各国の自然環境と生活や産業の発展について理解する。 各国の歴史や民族について理解する。	◆ 各国の戦後の歩みや自然と農業、経済発展の様子や生活文化を学習し、日本との共通点や相違点を見つけることができる。(②④)		● 新地理Aノート点検 ● 授業プリント提出 ● 授業態度	
		4章地球的課題と私たち	地球的課題の特徴その解決策について理解する。	◆ 世界の環境問題の特徴を理解し、その他の様々な問題と関連つけて考察することができる。(②④)		2学期期末考査	
三 学 期	1	第2部身近な地域の課題		◆ 遠隔探査やGIS・GPSの役割を理解している。(④)		● 新地理Aノート点検 ● 授業プリント提出 ● 授業態度	
	2	①身近にある様々な地図	地図の世界に導入された新しい技術を理解する。			学年末考査	
	3	②日本の自然環境と防災	日本の地形や気候の特徴を捉え、自然災害との結びつきを理解する。	◆ 日本の自然環境と防災に対する関心と課題意識を高める。(①④)			

# 「地理歴史・公民科 世界史A」

教 科	地理歴史・公民科	科 目	世界史A	ク ラ ス	2年機械・建築・環境化学・情報電子・電気科
				使用教科書	『新版 世界史A』 実教出版
科 目 の 目 標		近現代を中心とする世界の歴史を、我が国の歴史と関連付けながら理解させ、人類の課題を多角的に考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う			
科 目 の 評 価 の 観 点 の 趣 旨		1、近現代を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任をはたそうとする。 【関心・意欲・態度】 2、近現代史を中心とする世界の歴史から課題を見だし、世界的視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。 【思考・判断・表現】 3、近現代史を中心とする世界の歴史についての諸資料を収集し、有用な情報を選択し活用することを通して、歴史的事象を追求する方法を身につけるとともに、追求し考察した課題や結果を適切に表現する。 【資料活用 の 技能】 4、近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を、我が国の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。 【知識・理解】			
学 期	月	学 習 内 容	◆指導目標	◆主な評価規準 【 評 価 の 観 点 】 指導上の留意点	●評価方法 ○ 資 料 等
一 学 期	4 月 か ら 7 月	第1章 諸地域世界 1 東アジア世界 2 南アジア世界 3 イスラム世界 4 ヨーロッパ世界	・それぞれの地域で芽生えた文化が、独自の風土や環境のもとで形成されてきたことを理解させる。	◆東アジア世界では漢字や儒教を文化的特徴とする中国に統一王朝が成立し、近隣諸国に大きな影響を及ぼしたことを理解しているか。 【知識・理解】 ◆南アジアではバラモン教、仏教、ヒンドゥー教、イスラム世界ではイスラム教、ヨーロッパ世界では、ギリシア・ローマの文化にキリスト教の文化がヨーロッパをまとめる文化として大きな役割を果たしたことを理解しているか。 【知識・理解】	○資料集『ダイアログ世界史図表』（第一学習社） ○世界史Aノート ○世界史A白地図ワークノート  ● 考査評価 ● 提出物評価 ● 授業への取り組み
		第2章 ユーラシアの諸文明と交流 1 海域世界の成長 2 遊牧社会の膨張 3 地中海海域 4 東アジア海域	・それぞれの諸地域で展開される歴史と文化が、相互の関係を深めつつ独自の交流圏を深めたことを理解させる。	◆ヒトやモノ・技術・文化の交流が活発化・多様化し、陸路・海路・河川の交通路と利用が活発になる過程を考察しているか。 【思考・判断・表現】 ◆海と陸を結ぶネットワークが発達し、内陸アジアやユーラシア大陸南縁部に大交流圏が形成されたことを理解しているか。 【資料活用 の 技能】	
二 学 期	8 月 か ら 1 2 月	第3章 一体化に向かう世界 1.大航海時代の世界 ①ヨーロッパの変革 ②大航海時代のヨーロッパ ③アメリカ大陸の変貌 ④大航海時代のヨーロッパと東アジア  2.ヨーロッパ主権国家体制の成立 3.アメリカとフランスの革命 ①アメリカ独立革命 ②フランス革命の勃発 ③革命の展開と終結 ④ナポレオンの時代	・大航海時代のヨーロッパとアメリカ、アジアとの接触と交流の歴史を通して、この時代の世界の全体像を把握させる。 ・ルネサンス、宗教改革、大航海時代の学習では相互の關係に着目しながら特色をつかませる。 ・主権国家体制の成立と大西洋貿易の展開によるヨーロッパ社会の変容について理解させる。 ・アメリカ独立革命、フランス革命、ナポレオンの時代など18世紀後半から19世紀にかけてのヨーロッパ・アメリカの経済的、政治的変革を産業革命の進行と国民国家の形成として理解させる。	◆大航海時代のヨーロッパとアメリカ大陸との接触・交流に関する資料を活用し、アメリカ大陸の先住民の変貌について理解しているか。 【資料活用 の 技能】 ◆ヨーロッパの進出がアメリカ大陸に与えた影響について今日の状況を踏まえて考察しているか。 【思考・判断・表現】 ◆アメリカ独立革命、フランス革命、ナポレオンの時代を把握し、革命の意義・影響について理解を深めることができたか。 【知識・理解】	1 学期の評価に準ずる

	<p>4, 産業革命</p> <p>5, 19 世紀の欧米世界</p> <p>6, アジア諸国とヨーロッパの進出</p> <p>7, 帝国主義と世界の変容</p> <p>①列強の世界政策</p> <p>②中国分割の危機と日本</p> <p>③アジア諸国の変革</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業革命によってイギリスの覇権が確立し、世界の構造的な一体化が進んでいったことを理解させる。</li> <li>・保守的なウィーン体制の下でナショナリズムの運動が高まっていったことを理解させる。</li> <li>・独立後のアメリカが広大な西部への領土拡大と人口の移動、先住民に対する抑圧、移民の流入によって形成されたことを理解させる。</li> <li>・世界史と日本の歴史の関連性を理解させる。</li> <li>・ヨーロッパ列強の進出によってアジア社会が変容していく過程を、アジア諸国の抵抗や近代化の動きにも着目しながら理解させる。</li> <li>・帝国主義列強の植民地支配に伴う民族対立や国境問題など、現在まで残る問題と関連付けて考察し理解させる。</li> </ul>	<p>◆産業革命の背景と展開について理解し、産業革命がもたらした社会の変容について考察しているか。【思考・判断・表現】</p> <p>◆産業社会の展開と社会の変化を考察する際に教科書や資料集を適切に活用しているか。【資料活用の技能】</p>	
三学期	<p>1 月から 3 月</p> <p>第 5 章 現代の世界と日本</p> <p>1. 第一次世界大戦と民主主義の展開</p> <p>2. ファシズムの台頭と第 2 次世界大戦</p> <p>3. 米ソ冷戦とアジア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20 世紀前半の世界大戦の経緯を明らかにし、その結果生じた歴史上の転機に注目しながら、第一次世界大戦から第 2 次世界大戦にかけての国際政治の変化を大きく捉えさせる。</li> <li>・第 2 次世界大戦の終結から 1970 年代初期までの世界の動向と、冷戦終結後、東欧諸国とソ連の社会主義体制が相次いで崩壊したことを理解させる。</li> <li>・現代の諸課題を歴史的に理解、考察させる。</li> </ul>	<p>◆第一次世界大戦後の原因と結果、世界恐慌の原因や性格などを理解し、その知識を身につけているか。【知識・理解】</p> <p>◆第二次世界大戦の歴史的意義について、意欲的に追究しようとしているか。【関心・意欲・態度】</p>	1 学期の評価に準ずるとともに、年間の状況を総合的に評価する。

「 公民科・現代社会 」

福島県立福島工業高等学校

学年	3 学 年	学 科	全 科	使用教科書	『高等学校 新現代社会』 第一学習社	単位数	3
科 目 の 目 標		1 現代社会の諸問題について、倫理、社会、文化、政治、経済など様々な観点から追求し、時事的な問題と関連させながら、現代社会に対する興味・関心を高める。 2 現代社会について多様な角度から理解させるとともに、現代社会と自己とのかかわりに着目し、いかに生きるかを主体的に考えさせる。					
科 目 の 評 価 の 趣 旨		1 現代の社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、社会的現象を総合的に考える態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。【関心・意欲・態度】 2 現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄から課題を見いだし、社会的現象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野にたつて多面的・多角的に考察するとともに、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断する。【思考・判断・表現】 3 現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身に付ける。【資料活用の技能】 4 現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方にかかわる事柄や学び方を理解し、その知識を身に付けている。【知識・理解】					
学期	月	学習内容	指導目標	◆主な評価規準 【評価の観点】	●評価方法 ○資 料 等		
一 学 期	4	現代の民主政治 日本国憲法の基本原理	国家と私たちの関係について考えさせる。 日本国憲法の基本原則がめざすものについて理解させる。	◆民主政治の基本原則を理解し、国家について自分との関係において考えることができるか。	○クローズアップ現代社会 ○新現代社会ノート ○新聞記事など		
	5	安全保障と平和 中間考査	日米安保体制が生まれた背景とどう変化してきたか理解させる。また、世界平和のために日本がなすべきことを考えさせる。	◆世界平和のために日本がなすべきことは何か、それを自分の問題として考えられたか。	○私たちが拓く日本の未来 (視察目録・学習指導要領資料) ●考査評価		
	6	裁判所と国会、内閣 地方自治と選挙制度 国際政治の動向	各国家機関の権限を理解させ、民主政治を守るためには何が必要か考えさせる。 地方自治と選挙制度を理解させ、今後の課題を考えさせる。 第二次世界大戦後の国際政治の動向を理解させる。	◆日本の統治機構を理解し、その知識を身につけ主権者としての自覚を持つようとしているか。 ◆現代の国際社会を理解できたか。南北問題を理解し、自分の問題でもあることに気付くことができたか。	●授業への取り組み態度 ●ノート・プリント評価 ●考査評価		
	7	国家主権と民族問題 期末考査		◆主権国家をめぐる今日の問題を考え、今起こっている日本と周辺国との国境問題を理解できたか。			
	8	経済のしくみ	経済の発展により生じた社会の変化と、産業構造の高度化により生じる課題について理解させる。	◆産業構造の高度化、経済のサービス化・ソフト化を理解できたか。			
	9	企業と政府の役割	企業の活動内容と社会的責任について理解させる。	◆現代の企業のしくみと社会的責任について理解できたか。			
	10	金融機関と財政 中間考査	財政と金融の機能、役割について理解させ財政政策・金融政策について理解させる。	◆現実の経済問題と教科書内容を関連させて、多面的・多角的に考察し、公正な判断をしているか。	●考査評価		
二 学 期	11	農業と食料問題 雇用と労働問題 社会保障と福祉社会	今日の問題と課題を考えさせる。 現代の雇用・労働問題など現代日本の問題を現実の生活と結びつけ理解させる。 社会保障のしくみを理解しその課題について考えさせる。	◆労働法制、社会保障などの制度について、その知識を身につけているか。 ◆日本の社会保障制度の課題について考えようとしているか。			
	12	世界の経済体制 期末考査 国際分業と貿易 国際収支と為替相場	各経済体制の特徴と課題を理解させ、世界の貿易の今後の在り方を考えさせる。	◆WTOの機能世界貿易のしくみを理解できたか。	●授業への取り組み態度 ●ノート・プリント評価 ●考査評価		
	1	環境問題 資源・エネルギー問題 学年末考査	よりよい環境を次世代に引き継ぐためにはどうしたらよいか考えさせる。 これらの問題と自らの生活のあり方を追及する。	◆環境問題や資源・エネルギー問題への国際的な取り組みを理解し、自らの生活を見直そうとする態度がみられるか。	●授業への取り組み態度 ●ノート・プリント評価 ●考査評価		
	三 学 期						